

BSEに対する日本の安全対策が 国際的にも認められました。



かつて、世界で、BSE(牛海綿状脳症)が発生したのは、
病気の牛の「プリオン」が、牛のえさに混ざったからでした。
このため、と畜場ではプリオンの蓄積しやすい部位を除去・焼却するとともに、
牛からとった原料を、牛のえさに混ざることがないように規制しました。

対策は大きな効果をあげ、
日本では、2002年2月以降に生まれた牛からは、
BSEは見つかっていません(2013年5月現在)。

**2013年5月、日本は
国際機関(OIE:国際獣疫事務局)から、
BSEの「リスクが無視できる国」に認定されました。**

安全対策の検証のため、
4才を超える牛を対象に、BSE検査を続けます。

詳しくは、厚生労働省・農林水産省の
ホームページをご覧ください。

BSE対策

検索

つくると、たべるを、ささえる。まもる。